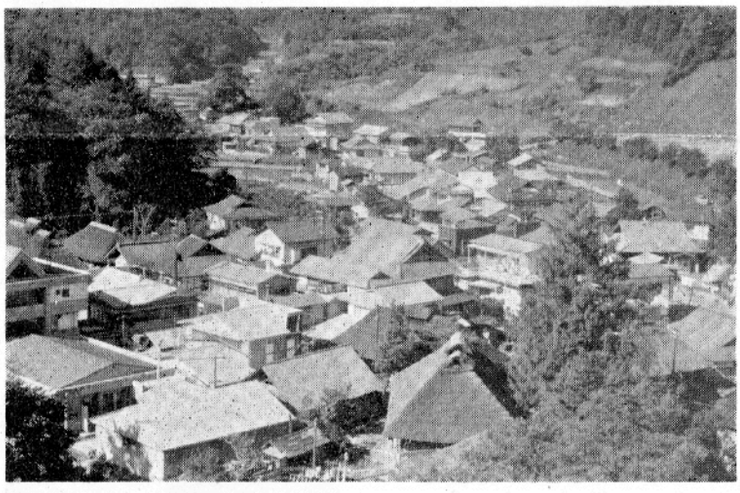
1967
11月号
No.168
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

11月の人口と世帯
人口 7,316(－8)
男 3,648(－9)
女 3,668(＋1)
世帯数1,234(－2)



白く光る急流、スクスクと伸びる人工造林、せまいながらも手入れのよい道路。これが現在の村を象徴している。



村の中心街、新宿も赤い屋根青い屋根が建ちならび、道路が舗装され、近代化の波は急速におしよせている。

第20回 鮫川村文化祭

体育レク行事を加えて 11月23・24日の二日間

史上最高の豊作にわく秋に恒例の文化祭も第二十回を迎えました。本年は渡瀬小中の火災で体育祭は中止しましたが、文化祭に体育行事を加え楽しんで頂くことになりました。行事の規模は例年なみですが、内容の充実をはかりましたので一家そろつてお出で下さい。

各会場ごとの行事内容を次に紹介します。

× × ×

◇高校分校

◉**農産物品評会**
特産物、林産物、一般農産物など約一千点の出品を見こんでいます。出品物の即売会は二十四日午後二時より同校にて行ないますので希望者は係に申しこんで下さい。

◉**高校生作品展**
家政科生徒七十三名の製作した作品と生花が展示されます。

◉**交通写真展**
県警の提供による交通関係の写真展です。

◇公民館

◉**鈴木画伯展**
二階会議室に百景会の表装された画十五点が展示されます。

◉**自治制二十周年記念式典**
地方自治法施行二十年を記念して、二十三日午前十一時三十分より行なわれます

◉**定通高二十周年記念式典**
定時制高校として発足した鮫川分校の二十周年を記念して、二十四日午前十一時三十分より行ないます。

◇役場

◉**農産物品評会表彰式**
二階会議室にて二十四日午後一時より行ないますので入賞者は参列して下さい。

◇青年研修所

◉**生活改善展**
昔と現在の台所や衣類の移り変りを婦人団体役員によつて展示するほか、衣類シヨーを行ない生花三十点も展示されます。

◇畜産センター

◉**農協展**
自動車ショー、農薬、肥料農機具、林業機械の展示会が開かれます。
農協取扱品の展示即売は事務所三階と組合ストアで行ないます。

◇鮫小校庭

◉**壮年ソフトボール大会**
三十五才以上の地域及び職場で編成されたチームによつて、二十三日午前九時より大会を開きます。

◇鮫川中学校

◉**児童、生徒作品展**
村内の小中学校生徒の書写図工、美術六百五十点が展示されます。

◉**商工展**
商工会加盟の商店の商品展示と即売会が行なわれます

クレー射撃大会

猟友会員七十五名が参加して二十三日午前九時より、中野字巡ケ作地内で開きます。
空気銃射撃大会もあわせて開かれます。

◇鮫中体育館

◉**お嫁さんに感謝する会**
昭和七年一月一日以後に生まれたお嫁さんの方を招待して、二十三日午前十時より行ない、優良赤ちやんの表彰式も行ないます。

◉**お母さんに感謝する会**
明治三十二年一月一日以後昭和六年十二月三十一日生れまでのお母さん方を招待して、二十四日午前十時より行なわれます。

◉**名作映画鑑賞会**
二十三、二十四日の二日間にわたり午前十一時より上映します。映画は昨年テレビで好評だつた「おはなはん」を映画化した作品で、松竹映画シネマスコープ総天然色、岩下志麻が主演しています。両日とも一般公開しますのでごらんになつて下さい。

各区 対抗駅伝競争

中高一般9名によつて編成されたチームで、役場前より本坂―名下―見渡―寅卯平―富田小―前沼―役場前のコースで行ないます。
出発23日 午後1時

二十三、二十四日の二日間
花嫁衣裳展示会
新宿 ゆさ理髪店の二階

自主納税推進運動

期間十一月十日から十一月三十日まで

未納の村税は今すぐ完納しましょう

十一月は今月納期の固定資産税第三期分を納期内に完納していただくと共に、未納になっている村税を自主的に完納していただく、自主納税推進運動を展開しております。この際納税者皆様の理解ある御協力をお願いします。

十一月は農産物代金なども入る時期ですから、いろいろ御都合もあることでしょうが未納になっている方はこの際是非整理して下さるようお願いします。

なお、現在未納になっている村税をこの運動終了後に納める場合は、延滞金を加算して納めていただく事になりますから御注意下さい。

⊙課税資料の収集について

村では、適正公平な課税を行うため常時税務職員が村内を巡廻して、未申告や課税洩れなどがないかどうかを調べております。

係員はいつも身分証明書を携帯して現地調査及び聞取調査を行っておりますから、公正な課税のため納税者皆様の御協力をお願いします。

役場のしごと ③



今月は総務課の内容をお知らせします。

⊙ 総務係

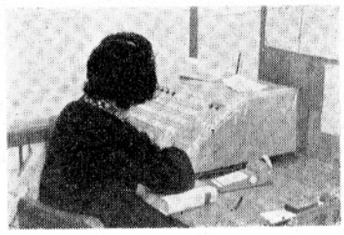
公印の管理、条例、規則の立案、諸令達の公布、文書の収発、陳情書、式典、宗教法人に関することと、

職員の任免、給与、庁内各課との連絡調整等の管理事務に、統計調査、選挙、消防、防災、区長に関すること。

交通対策、広報、観光、自衛隊に関すること、何れの課にも属しない仕事となっております。

⊙ 財政係

村の歳入歳出予算、村議会の議案、財政計画、地方振興計画、地方交付税と、起債に関すること。それに財産の取得、管理、処分基金、庁舎の管理、取締、公用自動車、構内電話、一部組合の規約と監査委員に関することとなっております。



電話交換台
ハイ、161番役場です

総務課のスタッフ

課長　蛭田　栄
総務係長　鈴木　英亮
　　関根　彦孝
　　高杉タカ子
　　藤田　正美
　　大池タカヨ
　　緑川　清幸
⊙ 財政係長　鈴木　俊之
　　赤坂　幸猪
　　中川西幸子

国民年金だより

国民年金に加入しよう!!

国民年金は、あなたの将来の幸せを約束し、生活を高め住みよい社会を築くための制度です。

二十才になったとき、また加入の資格のできたきは、必らず「国民年金被保険者資格取得届」を村役場へ出しましょう。住所や氏名が変ったときはそのことをすぐ届け出ましょう。

他の公的年金に加入したら国民年金の「資格喪失届」を出しましょう。

かけ金はきちんと納めましょう!!

国民年金のかけ金は、あなたが二十才から三十四才までの間は、月に二百円、三十五才からは月に二百五十円ですこのかけ金の額は、あなたが将来、受け取る年金額から計算しますと、おどろくほど安い金額です。このように受ける年金額は高く、納めるかけ金は安い。それは国民年金が国の社会保障制度だからですかけ金は、忘れずにきちんと納めましょう。

,,国民年金で受けられる年金額''

年金種類	受給要件	年金額
老令年金	二十五年以上かけ金したかけ金の免除を受けたとき（高令の人は十年の免除で六十五才に達した。	年額六万円の1/3短縮）
障害年金	一年以上かけ金をつづけていたとき（免除の一級の障害で不具廃疾になった。	三年）人とき、年額六万円に二千円加算
母子年金	一年以上かけ金をつづけていたとき（免除の三年）母が、夫の死亡により十八才未満の子とき。	三年）子二人のときの年額六万円第四、八〇〇円加算
準母子年金	一年以上かけ金をつづけていたとき（免除の三年）祖母や姉が、父、息子、父などの死亡により十八才までの孫と弟妹がいるとき。	祖父母の欄に同じ
遺児年金	一年以上掛金を続けていた（免除のとき三年）父や母の死亡により残された十八才未満の子に	年額三万円
寡婦年金	老令年金の受給資格のある夫の死亡により妻に六十から六十五才迄	老令年金の半額
死亡一時金	三年以上かけ掛金したとき。	別に定める額

おらほの広報 (7)

今年は地方自治法が制定されてから二十周年に当るので、わが村でも記念式典を行う計画があります。

敗戦の焦土と困乱の中から芽生えた民主主義の若芽が、新憲法となり、地方自治法となって、ここに二昔の年輪を積んだことは、誰しも回顧して今昔の感にたえぬものがあることと思います。

地方自治法の公布されたのは、昭和二二年四月十七日ですが、日本国憲法施行の日から実施されることになつていたので、その年の五月三日から施行されたわけです。

自治制二〇周年を想う

村長　石田卯子八

わが村の新制中学校は、初め一村一校の方針で発足したが、いつの間にか三校分立となりました。

富田小学校、後に青生野小学校が小規模校ながら独立し東野分校が新しく生れるなど地形的にも合併不能町村に数えられていました。

このことは他の町村にあつても、住民は同じ住民であることにかわりはなく、困乱の世相、窮乏の経済下で、新しい地方自治を進められた先人の苦労が容易なものでなかつたことは推察に余りあるところです。この時期の重要課題は終戦処理と六三制教育の発足と、農村とはいいながら食糧難の時代であつただけに、食糧増産と供出が重要な仕事であつたことは想い新なものがあります。また農地法の制定が、農地の解放に関するいろいろ困難な諸問題を投げかけていました。

それ以前、既に憲法草案が出ており、その趣旨に従つて町村制の大改正が行われたため戦時中の指導者はその地位を追われ、婦人の参政権が認められ首長の公選が行われました。

しかし制度が大変革されていました。

この傾向は単に学校だけのものではなく、戦時中の中央集権、戦時統制の反動傾向とみることもできましょう。

昭和二十六年頃からは国内情勢も次第に落着きをとり戻し講和条約も締結されましたが、この時期には町村合併による町村の離合が行われ、地方自治体大型化の時代が開かれました。

町村制時代わが村は県内でも大村の部に属し、戦後人口も増加していたので、当時適正規模にあるものと考えられたような分村、合併をめぐる争議や新町村内の方部対立の抗争がなくてもすんだとはいうものの、一面異質消化の試練と、躍進の機会を得られなかつたことも争われない事実であります。

このようにして強大化した隣接町村の間に伍して、もとの姿のわが村が、なお近代化の歩度におくれることなく、その後の歩みを続けて、現時点に立至つたことは、累積された先人の努力と、住民の英知と協力によるもので、顧みて感謝の念を禁じ得ないのであります。

二〇周年の年輪を踏んで、これからの二〇年を展望するとき、われわれはますます大型化して行く自治体機構の改変の潮流を見さだめることが重要であり、この潮流に逆行する戒めを堅く持たなければならないことを感ずるのであります。

＜決算から見た診療所の運営＞

昭和41年度診療所会計決算状況

今月は診療所会計についてお知らせします。

診療所の会計は、薬品その他の資材購入費や医師看護婦給与など、診療所を運営してゆくのに必要な財源を国民健康保険等から支払う保険金と(約8割)患者の負担する一部負担金(約2割)で補うわけです。従つて収入面にあつては診療収入、支出面にあつては総務費（人件費、事務費等を計上している科目）と医療費（薬品購入費等を計上している科目）が根幹となつています。

さて、昨年度の収入総額は9,996,430円で、この内診療収入の占める割合は90%、金額にして 9，021，166円です。その他繰越金等975，264円でした。

一方、支出総額は8,010,300円で、主なものは総務費5，018，283円（63%）、医療費2，911，837円（36%）その他80，180円です。

差引き 1，986，130円の剰余金が生じたのでこれを42年度に繰越しました。

診療所事業は、村が行なつている公共事業の中でも村民の健康を管理するというごく重要な部門をうけもつ大事な事業です。そして村民の皆さんがよく利用して下さるほど運営が安定してきます。

昭和41年度国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算書

歳　入

款	予算額	収入済額	収入未済額
	円	円	円
1. 診療収入	8，734，000	9，021，166	119，582
2. 使用料及び手数料	21，000	18，700	0
3. 繰入金	0	0	0
4. 繰越金	933，000	933，395	0
5. 諸収入	13，000	23，169	0
歳入合計	9，701，000	9，996，430	119，582

歳　出

款	予算額	支出済額	不用額
	円	円	円
1. 総務費	5，137，000	5，018，283	118，717
2. 医療費	3，018，000	2，911，837	106，163
3. 施設整備費	88，000	80，180	7，820
4. 予備費	1，458，000	0	1，458，000
歳出合計	9，701，000	8，010，300	1，690，700

歳入歳出差引残額　1，986，130円（全額昭和42年度歳入に編入）

火事を出さないために
火事を大きくしないために

防火の四チック

火や燃料を使うときには

1. 場所は危険でないか（附近に燃えやすいものはないか）
・ストーブをカーテンやふすまのそばに置いてないか
・火のそばでベンジンなどを使つていないか
・整理整とんがゆきとどいているか

2. 器具は安全か（故障していないか、調整はよいか）
・油もれ、ガスもれをしていないか
・火消つぼやかまど、煙突の破損はないか
・電気こたつのサーモースタット石油ストーブのバルブは故障がないか

3. 使い方は正しいか（説明書をよく読んで）
・石油ストーブの燃料をまちがえていないか
・電熱器をこたつの代用にしていないか
・タコ足配線など無理な使用
操作のまちがいはないか

4. あと始末は完全か（もう一度確かめて）
・たき火、たばこの残り火は
・ガスの元コック、アイロンのさしこみは
・外出するとき、ねるまえにはもう一度、火の気が残つていないか

消火三ルール

火事を大きくしないためには

1. 早く知らせる（一六一番役場へ）
・場所をはつきりと（目標も）
・燃えているものは……
住宅か、倉庫か、自動車か

2. 早く消す（ふだんから消火器、バケツに水を）
・わずかな準備でも被害を少なくします。
油火災、プロパン火災には消火器を
・隣近所の人と協力して平素からの協力体制が大切

3. 消火のじやまをしない（火事場でヤジ馬にならない）
・消火活動で一番大きいじやまはヤジ馬です
・急ぐ消防車には道を広くせまい道、消防用水の近くには駐車しない。



小作料が改正になりました

田は四倍畑は二・五倍

最近における農業の生産条件や農産物価格条件などの変化によつて小作料が改正されることになり、昭和四十二年九月一日から施行されました。

農林省令第三八号の基準は次のとおりです。

（一〇アール当り）

等級		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級
田	改正前	1.422	1.361	1.301	1.240	1.180	1.119	1.059	998	938	877	817	756	696	635	575
	改正後	5.688	5.444	5.204	4.960	4.720	4.476	4.236	3.992	3.752	3.508	3.268	3.024	2.784	2 540	2 300
畑	改正前	868	829	789	750	711	672	632	593	554	514	475	436	396	357	318
	改正後	2.170	2.073	1.973	1.875	1.778	1.680	1.580	1.483	1.385	1.285	1.188	1.090	990	893	795

自衛官募集中

自衛官募集中です。希望者は、役場総務課の方におたずね下さい。

石井選管委員退職

この度、選挙管理委員会委員石井半次さんが退職されました。

石井さんは去る一月九日の村議会に於て、鮫川村選挙管理委員会委員に選ばれ、二月二日就任、委員長職務代理者としてその責務を果されました。在任中県議会議員選挙、村議会議員及び村長の選挙等身近なしかも重大な選挙を取り扱われましたが、この度、病気のため退職されたものです。在任中の御精励に感謝し御病気の全快を祈ります。

後任として、補充員である大字西山斉藤武氏が十一月四日就任しました。

おめでた

十月

岩野草　松崎　和代　父　健一
水口　市川　尚子　〃　正尚
官代　前田ちあき　〃　三郎
菅田　関根　幸子　〃　正照
鎌木田　添田　祐子　〃　剛弘

おくやみ

十月

		年令	世帯主
岩野草	坂本　晃	0	由男
浅屋敷	鈴木美智代	0	幸栄
石ノ花	舟木吉之助	86	芳男
青生野	棚井直之助	74	正一
伏木田	矢吹　イセ	73	義雄

成人者のお知らせ

四十三年一月十五日に村公民館で行なう成人式に参加される方をお知らせします。

該当者は昭和二十二年四月二日から二十三年四月一日までに出生された方です。この名簿は住民票により作成しましたが洩れている方がありましたら、公民館事務局に連絡して下さい。

転出されている方で村の成人式に参列されたい希望者は十二月二十日までに公民館事務局に申しこんで下さい。

大字赤坂西野

成人者　世帯主
白坂　久幸　清美
須藤　一兄　一雄
白坂　利幸　金幸
矢吹　静　啓松
矢吹　栄蔵　喜太郎
舟木　栄一　留吉
藤元健次郎　美
円谷　勇　正雄
北条　三良　栄
須藤　敦子　英一
白坂　和子　邦次
白坂エイ子　キヨノ
須藤　タカ　久司
北条　光子　昭一
矢吹　初枝　菊次
阿久津初江　良兄
高坂ケイ子　七朗
星　重子　弥義
吉田　弘子　稔
高原　初江　泰治
舟木ヨシ子　ミエ

大字西山

石井　久夫　栄一
水野　一美　武雄
本郷　長　長右エ門
関根　孝夫　正雄
高野　博光　勝義
生田目時子　幸治郎
斉藤ヨシエ　武
阿久津良子　市之助
芳賀セツ子　一
高木寿美子　佳一
水野　多美　重世
水野　きよ　幸光
関根ユキ子　次夫
関根　孝子　武
大楽マサ子　長二
高野てる子　友弥

大字赤坂中野

中川西　朗　正司
矢吹　三男　清敏
山本　実　久之
岡部　啓一　邦弥
金沢　栄　伊佐男
石井　操　栄寿
斉須美登里　政雄
湯座　ナツ　寛
鈴木ます子　和弥
湯座ヨシノ　久之
綠川　秀子　重行
綠川トキ子　辰弥
西牧ヨシイ　森清
前田　花子　正男
前田　孝子　弘
前田八重子　季男
中川西憲子　金之助

大字富田

青戸　敏一　倉之進
松本　久　啓
松本　一治　健治
藤田　正　松本重忠
坂本　正　喜一
青戸　里子　助六
戸村ヨシノ　米蔵

大字渡瀬

高久二三夫　勝義
芳賀　文行　文雄
芳賀　輝久　健之助
藤田二三夫　義雄
藤田　正雄　美好
小松　敏子　サカイ
蛭田　サト　春雄

大字青生野

堀川信四郎　義信
武藤　明　亥一郎
山形　新一　久男
生田目忠一　忠治
生田目忠孝　清八
石塚　留蔵　要
星　光一　久男
森田　節子　栄
中島とし子　三次

感想文募集

成人になつた感想を原稿用紙四百字詰三枚以内にまとめて、四十三年一月十日までに公民館事務局に届けて下さい。

応募者全員に記念品を贈ります。

鮫小の校内菊花展

昭和四十一、四十二年の二ヶ年にわたり文部省指定の避地教育研究校に指定され、理科の研究を進めてきた鮫川小学校では、校舎内外の環境づくりに力をいれ観察池、小鳥小屋、鶏と兎小屋、植物園、岩石園、フレーム、気象観測などの施設が作られ花壇には春のチューリップ秋のサルビヤ、晩秋の菊花がみごとに咲きみだれ訪れる人々の心を明るくしています。

四年生以上の生徒百六十名に理科教育とあわせて情操教育に役だたせようと、一人一鉢の菊づくりを六月上旬の挿木からはじめ、五カ月間の観察をかねての努力がみのり立派に咲きほこりました。学校では十一月三日より五日まで菊花展を開いたところ多数の父兄の参観がありたいへん喜ばれました。

高田さんより寄附金



中野の歯医者さんとして戦時中より十余年にわたり村民に親しまれてきた高田政吉さんは、故郷の石川県球洲市に帰り歯科医院を開いているが誠実な人がらからPTA会長や将棋連盟会長などを勤められ、その幅ひろい活動ぶりが地元新聞や市の広報に紹介されています。

このほど公民館建築にあたり設備費の一部にと金一封が贈られてきました。紙上より厚く御礼申し上げるとともに皆様にお知らせします。

中野チーム連続優勝

秋の野球大会

台風と雨にたたられ延期をかさねた文化祭協賛の野球大会は、連盟加盟の八チームが参加し十月十日、十五日、二十一日の三日間にわたり開催されましたが、須藤投手をようして若さあふれる中野チームが、大会初の連続優勝をなしとげました。成績は次のとおり。

役場　10…1　教員チーム
西野　11…8　東石チーム
中野　4…0　西野チーム
鮫高　2…0　西山チーム
中野　17…3　農協チーム
役場　9…5　鮫高チーム
中野　6…1　役場チーム

くつをまちがえた方に

十一月三日に公民館で結婚式の当日に東京からお出でになつた媒妁人の上田さんの皮靴をまちがえられ変りの靴を預かつていますので、まちがえられた方は公民館にお出で下さい。

（公民館）

青年学級生大会に参加して

水野一美

福島県青年学級生大会は国立磐梯青年の家に、県内各地より三〇〇名の青年が参加して九月二十六日より二泊三日間にわたり開催されました。

この大会は県下の青年学級生が一堂に会し、共同生活を通じて研修、学習発表、交歓および当面する諸問題について、研究協議を行ない、本県青年学級の振興に資する事を目的で行なわれました。

私もこの研修会には何か責任重大な、また期待と不安な気持で参加しました。分科会全体討議では、「我々青年学級でなにを学ぶべきか」、を主題として、色々と研究討議を行なつたが、今年は特に、学習意欲に欠ける者が多いのではないかというなかで、社会的に青年学級を認めてもらうためにも、また我々自体、真剣に学習に取り組むという態度、努力が必要であると話し合われました。

大会中には県内の仲間たちの友好を深めるため歌や、各対抗の体育祭が行なわれ、楽しい中に研究討議が行なわれました。また最後の夜のキャンドルサービスにおける感激は、参集した青年男女の心の灯となり、今後の学習活動に対して新たな意欲を燃えたたせるものとなりました。

此の学級生大会で県内から集まつた優秀な農村青年学級生同志が、同じ目的で勉強し青年の仲間を知り、一緒になつて、話し合つたことはどれも大切なことばかりでした。またそれと同時にお互が深い団結をし、この農業をもつとよくしようと熱のある決意をされたと言う事は、私たちにとつて、最高の喜であつたろうと感じます。



（写真は本村より参加した学級生六名）

◆ 11月の納税 ◆

固定資産税 第3期分です

納期限……11月25日

今年度分の固定資産税はこれでおわりです。おくれず、わすれず納期内に納めて下さい。